

(中条中学校学習ガイド)

# 令和6年度 学びのススメ

中条中学校 教育目標

**自学 鍛練 協働**



年 組 番 氏名

**十日町市立中条中学校**

# 学 び の ス ス メ

## ● 学力向上を目指し自ら学び続ける生徒

中条中学校が学習で大切にしていることは、「自ら学ぶ」こと、「関わり合いを通して学び続ける」ことです。「自ら学ぶ」「関わり合いを通して学び続ける」とは、どのようなことでしょうか？

## ● 自ら学ぶ

中学校の3年間の中で、「自立」「自律」の学習習慣を身に付けていくことが大切です。

この「自立」「自律」の学習習慣とは、だれかから課題を与えられなくても、自分にとって意義のある学習内容を自ら考え、方法を工夫しながら実行していけるようになることです。

【自立】 他の力を借りないで独立して  
やっていくこと

【自律】 自分で決めた決まりに従って、  
物事を行うこと

<旺文社、標準国語辞典より>

## ● 関わり合いを通して学び続ける

次に挙げるように、仲間との関わり合いを通して学び続けることで、より良い問題解決ができます。

### 1 考えを広げる【対話的な学び】

- ・ 仲間と一緒に取り組むことで、新しいことに思い切ってチャレンジすることができる。
- ・ 互いに足りない点を補い合ったり、教え合ったりできる。
- ・ それぞれの違う経験に基づいた、いろいろな意見やアイデアが集まる。

### 2 考えを深める【深い学び】

- ・ 聞いてもらう相手がいることで、自分なりの意見をもつ習慣が身に付く。
- ・ 仲間の意見に刺激や触発を受け、自分の考えを見つめ直すことができる。
- ・ 意見を交換して練り上げることで、より高度な結論を得ることができる。

### 3 学ぶ楽しさを感じる【主体的な学び】

- ・ 仲間と協力して取り組むことで、一体感や団結力が高まる。
- ・ 互いの意見を交流することで、学習に積極的に参加することができる。
- ・ 自分たちの力で課題を解決することで達成感を味わえ、粘り強く学習を継続することができる。



# 中条中学校の学習の柱

## “3じの学習”（学習三原則）

じゅん び ばん たん  
準備万端

じ かん げん しゅ  
時間厳守

じ しゅ きょう どう  
自主協働

### 1 準備万端

#### (1) 学習用具の準備

- ① 授業で使うノートや辞書類、学習用具などについては、それぞれの教科担任の先生の説明をよく聞いてからそろえる。兄弟や親戚などから学習道具を譲ってもらえる場合は大いに活用する。また、すべてのものにしっかりと名前を記入する。
- ② 鉛筆（シャープペンシルの芯）は、B～HBを使う。薄い字は読みにくく、テストなどで不利になる。目の健康面からも濃くはっきりと書く。
- ③ 授業で必要なものは事前に教科係が連絡するので、生活ノートにメモをとって忘れ物がないよう前日のうちに準備する。

#### (2) 活動にふさわしい身なり・準備

- ① 授業は正しい服装で受ける。（通常の授業では制服、体育や作業学習では体育着）
- ② 授業が開始される前に、必要な学習用具を机上に準備する。

### 2 時間厳守

#### (1) 授業開始時間の厳守【タイム起立】

- ① 中条中学校では、一部の期間以外は授業開始と終了のチャイムが鳴らず、開始時間になったら起立・礼の号令がかかるタイム起立で授業が始まる。時計を見て、行動する。
- ② 移動教室や着替えなどは、タイム起立に間に合うように早めに行う。

#### (2) 提出物期限の厳守

- 授業で宿題として出される課題や授業で製作している作品などの提出期限は必ず守る。

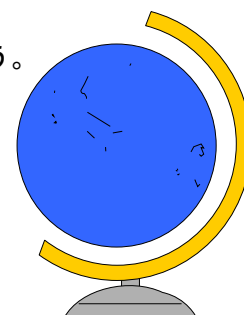
### 3 自主協働

#### (1) 考えを広げる【対話的な学び】

- ① 間違いや失敗をおそれず、進んで発言しよう。それは、他の人のヒントにもなる。
- ② 「教えるものは二度学ぶ」の心構えで、みんなのために力を発揮しよう。
- ③ 自分の意見との共通点や相違点を考えながら、他の人の意見を聞こう。
- ④ 他の人の意見には、積極的に反応し、質問をして話し合いを深めていこう。

#### (2) 考えを深める【深い学び】

- ① 課題について、まず自分で考えることを大事にしよう。
- ② 自分の疑問を大切にし、納得できるまで追究しよう。
- ③ 他の人の意見や資料も参考にしながら、意見を練り上げよう。
- ④ 自分の考えとその理由・根拠を明確に説明できるように整理しよう。



(3) 学ぶ楽しさを感じる【主体的な学び】

- ① 全員が学習活動に参加し、授業を活発にしよう。
- ② 同じ目標に向かって他の人と協力していくことに喜びを見つけよう。
- ③ 相手が困っているときには、進んで手を差し伸べ、また自分も助けを求めよう。
- ④ 相手の良さを探し、それを認め、そして相手に期待していこう。

## 話し方・聞き方

### 声の大きさ

- 0の声 口を閉じて
- 1の声 隣の人だけに聞こえるように
- 2の声 班の人にだけ聞こえるように
- 3の声 学級のみんに聞こえるように
- 4の声 教室で号令をかける声で
- 5の声 外(屋根のないところ)で出す声で



### 発表の仕方

- 1 大勢のいる方を向いて
- 2 みんなに聞こえる声で
- 3 分かりやすい話し方で
- 4 結論を先に、理由を後に
- 5 班の意見を発表するときは正確に

### 話の聞き方

- 1 口を閉じ、発表者の方を見て
- 2 発表者の言おうとしていることをまとめながら
- 3 自分の考えとどこが違うか考えながら
- 4 必要によってはメモをとりながら
- 5 相手が話し終わるまでしっかりと

### 記録の仕方

- 1 全部でなく、要点をメモ
- 2 後で見直しても分かるようにメモ
- 3 できれば違った意見もメモ

### <指名されたとき・答えるとき>

- 指名されたら、「はい」と返事をしてから起立し、「私は～と考えました。なぜなら～です。」と自分の考えとその理由を説明しましょう。教室全体に聞こえる声の大きさと発表しましょう。
- 指名されて、答えられそうにない場合も「分かりません」と答えずに、「ここまでは分かるのですが、これから先はうまく説明できません」というように、自分の状態を話しましょう。そうすれば、級友や先生からアドバイスが得られます。

# 家庭学習の進め方

勉強は、自分でするものです。学校の授業でしっかり学ぶことに加えて、家庭での自主学習にしっかり取り組むことで、確かな学力が身に付くのです。

中条中学校では、次のように家庭学習時間（最低目標時間）の目安を設けています。

1年生：70分      2年生：80分      3年生：90分



学校では1日の授業で複数の教科の学習をします。その授業の宿題や予習・復習を1教科につき10～20分程度すると、1日分で60～120分程度の学習時間が必要になります。学年が上がるにつれて学習する内容は難しくなります。最低でも、1年生なら70分、2年生なら80分、3年生なら90分は学習時間を確保しましょう。

小学校と大きく違う点は定期テスト前の学習です。通常の予習・復習や宿題に加えて、テスト対策学習を行うため、学習時間は120分～180分以上になります。また、3年生には高校入試があり、毎日180分以上学習する人もたくさんいます。

## 1 中学生に必要な学習

### (1) 自ら行う予習・復習

学習は自ら取り組む、自分に必要なことを自分で考えて取り組むからこそ、効果的な学習になります。宿題だけでは足りません。「自学ノートやドリルパーク」などを活用して、「自分のためになる勉強」を進めましょう。毎日記録する生活ノートや授業の振り返りをもとに、自分に合った学習方法を見つけましょう。単にノートのページを埋めるだけ、答えを書き写すだけの学習では自分を伸ばすことにはなりません。ワーク等の教材や、タブレットを積極的に活用しましょう。

### (2) 宿題として出される家庭学習課題

5教科の授業では、次の授業につながる宿題が出されます。忘れずに取り組みましょう。学習課題の内容は、教科係が連絡します。しっかり連絡を聞き、生活ノートにメモを取りましょう。

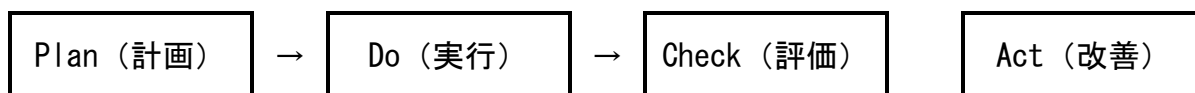
### (3) テスト対策学習

定期テスト2週間前にはテスト範囲が発表されます。範囲が広いので、計画表を作って計画的に学習を進めます。「教科」だけでなく、「復習する単元」や「ワークのページ」などを具体的に記入し、その日にやることを明確にイメージできるようにすることが実行につながります。

### (4) 進路実現に向けた学習

中学生の大きな目標は、自分の希望する進路を実現することです。進路実現のためには、高校入試や入社試験といった高いハードルがあります。1年生の時から確認テストで、自分の学力を把握しながら受験勉強を進めていきます。「受験勉強は3年生から」では遅すぎるのです。

## 2 家庭学習のPDCAサイクル



このサイクルを着実に行うには、強い意志が必要です。「1日くらいいいや」と楽な方へ流されてしまわないよう、毎日の計画と実行、その後の評価と改善を続けていくことが大切です。



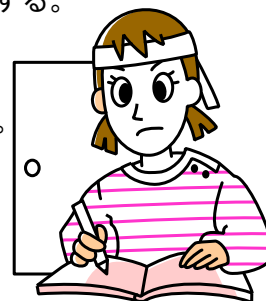
### 3 家庭学習と生活の見直し

家庭学習習慣が身に付くかどうかは、自分の生活習慣を見直し、家庭学習時間を確保できるかどうかにかかっています。

まずは、1週間ごとに家庭生活のめどをもつことが大切です。次のように、まず1週間の生活と学習の予定を立て、それを基にして学習を進めていくようにしましょう。

#### (1) 自分を理解する

- ① 各教科について、自分ができていること、できていないことを明らかにする。
- ② 自分の興味・関心があり、追究してみたいことを明らかにする。
- ③ 自分にとって毎日学習が必要だと感じることを挙げる。  
(例) 自分は英語が苦手だから毎日英単語を5つ、10回書いて覚えたい。  
今の学習がよく分からないから、前の内容を見直そう。



#### (2) 1週間の大まかな予定を生活ノートに記入する

- ① 塾や習い事のある日など、1週間の大まかな予定を考える。
- ② 曜日ごとに学習時間として当てられる時間を設定する。
- ③ その際、自由時間もある程度確保しておくことが大切です。あまり無理な計画は、長続きしないものです。
- ④ テレビやゲーム、パソコンなどのメディアは時間を決めて学習に支障がないようにする。

#### (3) 生活ノートに1週間の学習予定を記入する

- ① 食事・入浴時間、就寝時間など生活に必要・大切な内容を1週間の予定表に割り振る。
- ② (1)で考えた学習時間を、1週間の予定表に割り振る。
- ③ (2)で考えた自由時間やメディアなどの娯楽時間を割り振る。
- ④ 時間割で予習、復習が必要な教科を予想し、1週間の予定表にその学習内容を記入する。

#### (4) 毎日、立てた計画に従って学習を進める

- ① 毎日、学習を始めるときに、学習予定表を確認する。その際、今日出された宿題、今日の学習でよく分からなかったり復習が必要だと感じたりした内容を、予定表に付け加える。
- ② 今日の学習内容を確認したところで、それぞれの学習内容に優先順位を付けて取り組む。

#### (5) 反省と改善のあるところに向上あり！

- ① 1日を終わったら、生活の様子、学習の様子を実際を記録し、計画との違いを確認する。
- ② 計画との違いを分析し、次の改善策を考えて計画を見直し、生活を改善する。
  - ・学習時間は必要な時間が確保されていなかったか、確実に実行しましたか。
  - ・食事・入浴など生活必要時間は適切に確保、実行しましたか。
  - ・テレビやゲーム、パソコンなどのメディアのやり過ぎはありませんでしたか。
  - ・何となく過ごす、無駄な時間はありましたか。
  - ・就寝時間は適切でしたか。

<生活ノート・家庭学習時間記録表を活用し、生活習慣の改善と家庭学習の充実を>

生活ノートや家庭学習時間記録表を有効活用しましょう。帰宅後の生活を記録し見直すことで、無理や無駄のない生活リズムをつくります。

そして、家庭学習時間記録表に毎日の家庭学習時間を記録し、学習時間を確保するための望ましい生活習慣について考えましょう。

# 学 力 向 上 に 向 け て

中条中学校では毎時間の授業や家庭学習以外にも、学力の向上に向けた取組を行っています。

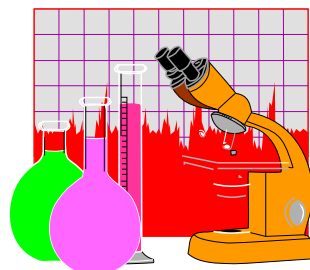
## 1 朝読書・朝学習

一日の始まりに落ち着いて学習を始められる環境をつくります。

- (1) 朝読書で、心を豊かにするとともに、語彙力や文章読解力を養います。
- (2) 定期テスト前は朝学習に取り組んで基礎基本を身に付けます。

## 2 基礎テスト（漢字テスト・計算テスト・英語テスト）

- (1) 学習の基礎となる漢字・計算・英単語をきちんと習得するため、年間各2回、計6回実施します。
- (2) 合格点80点以上に達しない場合は再テストや補充学習に取り組み、出題範囲の学習内容を確実に身に付けます。



## 3 定期テスト・自学タイム

年間3回の定期テストを実施し、学習内容の理解状況を確認します。なお、定期テスト前の部活動停止期間には、終学活後に自学タイムを設定し、帰宅後のテスト勉強の弾みをつけます。

## 4 Web配信集計システムの活用

- 1・2年生5回、3年生3回、国語・数学・英語の3教科について、基礎・基本の習得を確認するテストがあります。



## 5 学習の確認テスト

1・2年生2回、3年生5回、学習の総まとめの確認テストがあります。高校入試と同形式の問題で自分の学力を把握します。そのテストに向け、過去問題による対策も行います。

## 6 家庭学習強調ウィーク

定期テストに合わせて、家庭学習の取組を見直したり、改善を図ったりする期間を設けます。

## 7 各種検定の推奨

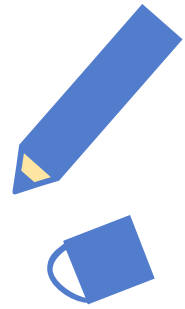
英語検定・漢字検定・数学検定など各種検定へのチャレンジを応援します。

- (2) 合格すると公に認められた資格を得ることができ、将来の入試や就職にも役立ちます。
- (3) 後援会のバックアップにより、検定を受けるための受検料の補助があります。

# テ ス ト の 受 け 方

## <開始前>

- (1) 制服で受ける。(体育などの実技テストは、別に指示する。)
- (2) 座席は、指示に従い、名簿順に着席する。
- (3) カバン、筆箱などはロッカーに入れるか、教室後ろや廊下に整然と並べておく。
- (4) 机の中・机の下・机の脇には、物を置かない。
- (5) 机上には、必要な筆記用具のみを置く。



### 【必要な筆記用具】

鉛筆またはシャープペンシル数本（HB以上を原則とする。試験中の芯の入れ替え×。）  
消しゴム、直線定規または三角定規1本、コンパス（分度器は認めない。）

### 【持ち込みを認められるもの】

出題者から認められたもの（例：授業ノートなど）  
事前に申し出て監督者から認められたもの（例：医療品やティッシュペーパーなど）

## <開始後>

- (1) テスト開始5分前にタイム起立・礼を行い、問題配布を待つ。配布されても名前を書かない。
- (2) チャイムと同時に筆記用具を持って開始する。
  - 名前と番号を解答用紙・問題用紙すべてに記入する。
- (3) テスト中に用事がある場合は挙手をする。
  - ② 問題に関する質問は出題者が回ってきたときに質問する。
  - ② 印刷が見えない・問題番号に間違いがあるなどの不備は監督者に確認する。
- (4) 最初から最後まで、冷静に落ち着いて、あきらめずに頑張る！
  - ① 用紙全体を見渡す → 印刷などの不備はないか確認する。
  - ② 問題全体を見渡す → 大まかな時間配分を考え、確実にできる問題から始める。
  - ③ 冷静に落ち着いて、時間を見ながら全部をやる。
  - ④ 早く終わったら何回でも繰り返して見直す。
  - ⑤ 終了時間少し前になったら、名前や解答欄の間違いなどないか最終確認をする。
- (5) チャイムと同時に筆記用具を置いて終了する。
- (6) 各列の最後尾の生徒は、名簿順に解答用紙を集め、監督の先生に提出する。

提出が完了するまでは、学級全員が口を開かない。



### ★不正行為をしない★

カンニングは不正行為である。

周りの解答を見る・周りの人に聴く・何かをポケットから出す・電子機器を使うなど

カンニングをしていなくても、そのように見えることは不正行為である。

- (不正行為と疑われる例) 落ちたペンなどを拾う。 → 手を挙げて、監督の先生に拾ってもらう。  
キョロキョロする。 → 問題に集中する。  
机に伏せる。寝る。 → 最後まで頑張る。



# 教科系の活動

授業ごとに先生が替わる教科担任制の中学校では、教科係がとても重要な役割を担います。次のような大切な活動がたくさんあります。

## 1 授業開始時

- (1) タイム起立・準備・忘れ物チェック
  - ① 授業の開始時間のタイム起立状況
  - ② 学習用具や服装の準備状況、宿題忘れの有無
- (2) 授業準備
  - 教科担任の先生の指示による、教材や用具などの準備  
例) 体育の用具 理科の実験道具 調理実習の準備 など



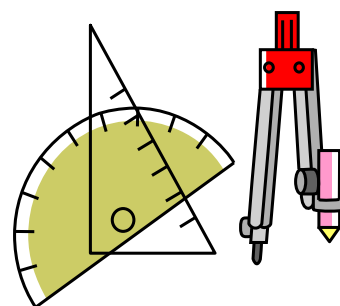
## 2 授業終了時の確認

- (1) 教科担任の先生への、次の授業の確認
  - ① 内容
  - ② 持ち物
  - ③ 場所
  - ④ 服装
  - ⑤ 宿題の内容・提出期限 など
- (2) 授業の後片付け
  - 教科担任の先生の指示による、教材や用具などの後片付け



## 3 教科連絡

- (1) 連絡黒板の記入（終学活まで）
- (2) 終学活での次の授業の連絡
  - ① 授業の内容
  - ② 授業の持ち物
  - ③ 授業の場所
  - ④ 授業の服装
  - ⑤ 宿題の内容・提出期限 など



## 4 提出物チェック

- (1) 提出物の回収と取組状況のチェック
- (2) 教科担任へのチェックした名簿・提出物の提出

## 5 学習環境と学力の向上に向けて

- (1) 学級の学習意欲や学習規律の向上に向けた取組
  - ① 学習意欲や学習規律を向上させる日々の声掛け（授業中や終学活など）
  - ② 学習意欲や規律を向上させる掲示物や配付物の作成
- (2) 教科担任の先生との相談による学力の向上に向けた取組
  - テスト前の予想問題や練習問題の作成



